

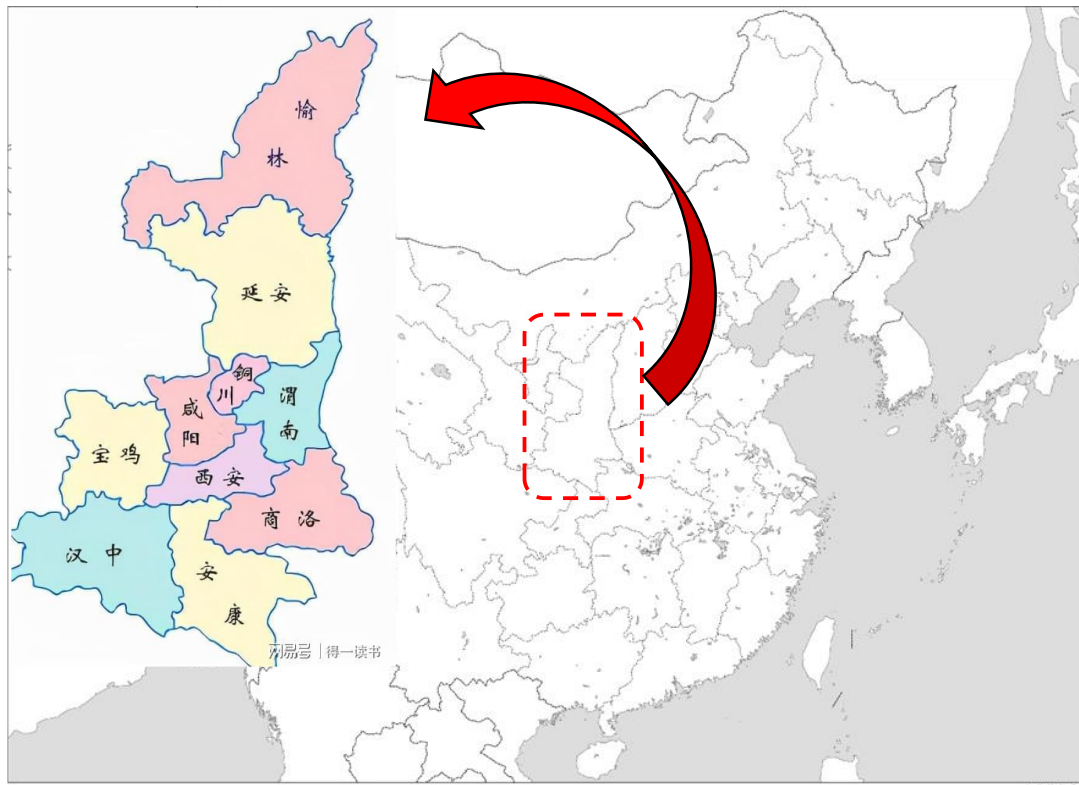
陝西省の概況

もくじ

(1) 基本データ.....	- 1 -
(2) 経済概況	- 3 -
(3) その他情報.....	- 5 -
(5) 陝西省指導者の主な略歴	- 8 -

(1) 基本データ

◆ 陝西省について



省都	西安（せいあん）市
面積	20.56 万km ²
人口	3,956 万人（男：2,018 万人、女：1,938 万人）
略称	陝、秦
地級行政区	11 市（うち西安市が副省級市）
書記	趙一德（ちょう・いっとく）* 略歴は後述
代理省長	趙剛（ちょう・ごう）* 略歴は後述

<気候>

陝西省の気候は大陸性モンスーン気候に属し、2023年の平均気温は摂氏13.0度、平均降水量は807.9ミリであった。地形が南北に長いことから地域差が大きく、南部の安康市の平均気温は摂氏15.1度、北部の延安市の平均気温は摂氏10.3度であった。

<地形>

陝西省の地形は南北に長く、南北両端は標高が高く、中部は低く、また西部は高く、東部は低いというような複雑多様な特徴を有している。北部は陝北黄土高原、南部は陝南秦巴山地で、中部は「八百里秦川」と呼ばれる関中平原となっている。

<歴史>

陝西省は、中華民族および華夏文化の発祥の地の一つとされ、西周、秦、漢、唐など14の政権が都を置いている。特に省都である西安は、古くは長安と呼ばれ、漢の太祖（高祖）劉邦が都を築いてから、中国を代表する都の一つとなり、西域に近いことからシルクロードの起点ともなっていた。国共内戦時代、第一次国共内戦を終わらせることにつながった西安事件はよく知られている。

<行政区>

陝西省には11の地級行政区があり、うち省都の西安市は副省級市とされている。

	市名称	よみ	一言メモ
1	西安市	せいあん-し	古くは長安と呼ばれ、歴代王朝の都だった。
2	銅川市	どうせん-し	唐代の離宮跡や唐三彩の窯などの遺跡がある。
3	宝鶏市	ほうけい-し	周王朝・秦の発祥地、古代の青銅器が出土。
4	咸陽市	かんよう-し	かつて秦朝の都として栄えた。
5	渭南市	いなん-し	道教の聖山・五嶽のうちの西嶽の華山がある。
6	延安市	えんあん-し	抗日の根拠地の一つ、共産革命の聖地。
7	漢中市	かんちゅう-し	旧称は南鄭、漢の字は漢王朝の名前の由来。
8	榆林市	ゆりん-し	北方民族の交通の要衝、石炭の産地。
9	安康市	あんこう-し	漢水の上流に位置、自然に恵まれている。
10	商洛市	しょうらく-し	商山と洛水から命名、春秋時代には晋の版図。
11	楊凌示範区	ようりょう-しはんく	中国で唯一の農業高新技术産業示範区。

(2) 経済概況

2023年における陝西省の域内総生産（GRP）は2兆9,801億元（前年比6.5%増）、1人当たりのGRPは7万5,360元（同6.3%増）であった。

項目	陝西省 ※カッコ内は前年比
域内総生産 (GRP)	3兆3,786億元（4.3%増） 第1次産業：2,649.75億元（4.0%増） 第2次産業：1兆6,068.90億元（4.5%増） 第3次産業：1兆5,067.42億元（4.1%増）
1人当りGRP	8万5,448元（4.3%増）
1人当り平均可処分所得	3万2,128元（6.6%増） 都市住民：4万4,713元（5.3%増） 農村住民：1万6,992元（8.0%増）
実質外資利用額	14.6867億ドル（0.2%増） ※なお、前年の外資利用額と伸び率で計算した場合、約141億ドルとなる。
輸出入総額	4,042.03億元（2.0%増） 輸出総額：2,630.64億元（11.5%減） 輸入総額：1,411.40億元（20.6%減）
貨物輸送量 ※前年比は、前年の数字を 基に当協会で算出。	18億289万トン（9.4%増） 鉄道：4億6,129万トン（6.5%増） 道路：13億4,102万トン（10.6%増） 水運：51万トン（70%増） 民間航空：7万トン（横ばい） 貨物取扱量：4,479億トンキロ（2.5%増）
旅客輸送量	2億6,304万人（90.1%増） 鉄道：1億2,057万人（159.2%増） 道路：1億2,754万人（50.1%増） 水運：92万人（84%増） 民間航空：1,402万人（202.2%増） 旅客取扱量：845億人キロ（142.7%増）

◆交通インフラ

鉄道：営業距離 6,439km。高速鉄道では、西成広線（西安⇔成都）、西延線（西安⇔延安）、西康（西安⇔安康など6路線が通っている）。

道路：省内の道路は 18 万 7,834km、そのうち高速道路は 6,739km に達している。

空港：西安咸陽国際空港、漢中固城空港、榆林榆陽空港、延安南泥湾空港、安康富強空港がある。西安咸陽国際空港は、日本では成田・茨城・大阪・静岡・名古屋・佐賀・沖縄との間に直行便を結んでいる。

◆日系企業の進出状況

2022 年 4 月時点で 28 社の日系企業が西安日本人倶楽部の法人会員として登録している。

- ・ **富士通**：1995 年に「西安富士通通信設備有限公司」を設立、主に無線通信設備および通信関連設備の開発・製造・販売、エンジニアリングサービスおよびアフターケアを行っている。
- ・ **NEC**：1998 年 1 月に日本電気（NEC）の独資企業「西安 NEC 無線通信設備有限公司」を設立、主に NEC デジタルマイクロ通信製品設備の販売・据付・メンテナンスに従事し、製品の販売前から販売後のアフターケアまで一貫したサービス体系を確立している。
- ・ **ブラザー工業**：1993 年 11 月にブラザー工業と中国標準縫紉機集団が共同出資して合併企業の「西安兄弟標準工業有限公司」を設立、ブラザーブランドの工業用ミシンの製造・販売を専業としている。
- ・ **ダイキン工業**：1996 年 8 月に「西安大金慶安圧縮機有限公司」を設立、コンプレッサーおよび関連製品の開発・生産・販売・設置に従事するとともに、アフターサービスと技術指導なども提供している。
- ・ **古河電気工業**：古河電気工業、江蘇亨通光電股份有限公司などが 1986 年 7 月に前身となる「西古光纖光纜有限公司」を設立、その後「西安西古光通信有限公司」に改名、現在西北地域最大の光ファイバー、光ケーブルの生産基地になっている。

◆ 陝西省に本社がある中国企業

＜陝西煤業化工集団＞

2004年に設立されたエネルギー・化学工業を主要事業とする大手国有企業。陝西省の豊富な石炭資源という優位性を活かし、西部大開発戦略の円滑な実施を念頭に、時代の要求に合わせる形で、陝西煤業集団を基礎として省内の大手石炭化学企業3社を合併させた。以来、石炭採掘、石炭化学工業、石炭火力発電、製鉄・冶金、機械製造、建築施工、鉄道投資、科学技術、金融、現代サービスなどの事業を多元的な相互補完による協調発展の産業配置を形成してきている。

＜陝西延長石油（集団）＞

中国国内に石油と天然ガスの探鉱開発資源を有する四大石油企業の一つで、陝西省人民政府傘下の国有企業。主な事業は、石油および天然ガスの探鉱・開発・加工・パイプライン輸送・製品販売、石油・天然ガス化学、石炭化学、設備製造、エンジニアリング、技術研究・開発など。フォーチュン500企業に毎年ノミネートされ、年々その順位を上げ、2021年には第234位に位置付けられた。

（3）その他情報

1. 日本の友好都市・姉妹都市

	日本の都市	陝西省の都市	締結年月日
1	京都府	陝西省	1983.07.16
2	香川県	陝西省	1994.04.22
3	奈良県	陝西省	2011.09.02
4	愛媛県	陝西省	2015.07.30
11	奈良県奈良市	西安市	1974.02.01
9	京都府京都市	西安市	1974.05.10
15	千葉県船橋市	西安市	1994.11.02
16	福井県小浜市	西安市	2004.09.28
13	鹿児島県霧島市	銅川市耀州区	1995.10.23
6	京都府八幡市	宝鶏市	1992.11.02
10	京都府宇治市	咸陽市	1986.07.24
14	千葉県成田市	咸陽市	1988.09.14

12	香川県三豊市	咸陽市三原県	2005.07.16
5	島根県出雲市	漢中市	1991.07.02
8	新潟県佐渡市	漢中市洋県	1998.06.22
7	静岡県牧之原市	安康市	2019.11.20

2. 陝西省の名所

秦始皇帝陵（しんしこうていりょう）・兵馬俑（へいばよう）

中国最初の皇帝嬴政（えい・せい）の陵で、紀元前 208 年に竣工した。西安市臨潼区、驪山の北麓に位置し、周囲 1,700 メートル、高さ 51 メートルの巨大墳墓。日本の大仙陵古墳（仁徳天皇陵）、エジプトのクフ王ピラミッドとともに世界三大墳墓に数えられている。そこから東側 1.5 kmの場所で、1974 年 3 月にたくさんの兵隊や軍馬を模した副葬品である兵馬俑が発見された。中国を代表する歴史的史跡の一つになっている。

大雁塔（だいがんとう）・小雁塔（しょうがんとう）

大雁塔は、唐代の永徽 3 年（652 年）、玄奘三蔵が天竺（インド）から持ち帰った経典や仏像を保管するために建てられた仏塔。西安市雁塔区大慈恩寺の境内にあり、当初は五層、後に九層となったが、最終的には現在高さ 64.5 メートル、周囲は 25.5 メートルの七層の塔となっている。小雁塔は、同じ唐代の景龍年間（707～710 年）に建てられた仏塔で、唐の中宗が父・高宗の追善供養のために建立した。西安市碑林区にある薦福寺の境内にあり、煉瓦造りの壮麗な建物である。もともとは 15 層あったとされるが、現在は高さ 43.4 メートル 13 層の塔となっている。

華清池（かせいち）

西安市臨潼区、驪山の山麓にある唐代の皇族の別荘地。それ以前にも歴代の王族や皇帝の宮殿が建てられていたという。唐の玄宗皇帝の寵姫・楊玉環（楊貴妃）が浸かったとされる浴槽がある。1936 年に蒋介石が張学良に拉致された西安事件の場所としても知られている。

半坡遺跡（はんぱいせき）

西安市灞橋区滻河東岸新築街道半坡村にある仰韶文化を代表する 6,000～6,700 年余りの歴史を有する新石器時代の遺跡。遺構の面積は約 5 万平方メートルで、1953

年に発見されて以来5回の大型発掘調査が行われた。45カ所の住居跡や250カ所余りの墳墓跡が発見されるなど、集落を形成していたことが分かる貴重な遺跡である。

乾陵（けんりょう）

唐朝三代皇帝・高宗とその皇后で後に中国唯一の女帝となった則天武后（武則天）の合葬墓。咸陽市乾県北部にあり、陵園は内外二重の城壁に囲まれ、内城の南北はそれぞれ1,450メートル、東は1,583メートル、西は1,438メートルの城壁となっており、総面積は240万平方メートルの巨大な墳墓となっている。

太白山（たいはくざん）

標高3,771メートル、秦嶺山脈の最高峰として、黄河水系と長江水系の分水嶺としても知られている。陝西省西南部、太白（宝鶏市）、眉（宝鶏市）、周至（西安市）の3県に跨っている。様々な地形が描き出す壮麗な景色は、唐代・宋代以降の文人や学士が訪れ、たくさんの詩歌の題材となっている。

華山（かざん）

道教の聖山である五嶽のうちの一つ、西嶽として位置付けられている。渭南市にある県級市・華陰市に位置し、南は秦嶺山脈に接している。古来、「奇険天下第一山（奇々怪々で危険な天下第一の山）」と言われるように、複雑で奇抜な景色が楽しめる。

延安革命遺跡（えんあんかくめいいせき）

1937～1947年まで、中国共産党中央と陝甘寧辺区の首都が置かれた延安市は、中国革命の指導者および後方支援の拠点として、革命の聖地となっている。鳳凰山中共中央跡地、楊家嶺中共中央跡地、棗園中共中央書記処跡地、八路軍総司令部跡地などの史跡がある。

(5) 陝西省指導者の主な略歴

書記：趙 一徳 (ちょう・いっとく)

生年月日 : 1965年2月 (57歳)

出身地 : 浙江省温嶺市

最終学歴 : 浙江省党委党校

民族 : 漢族

期間	役職
1983.08 - 1994.01	浙江省温嶺県、共青团浙江省温嶺県委などで勤務
1994.01 - 2006.11	共青团浙江省委組織部長・副書記・書記などを歴任
2006.11 - 2011.09	浙江省温州市委副書記・政法委書記・市長などを歴任
2011.09 - 2012.05	浙江省衢州市委書記
2012.05 - 2018.03	浙江省委秘書長、浙江省委常委、杭州市委書記を歴任
2018.03 - 2020.07	河北省委副書記
2020.07 - 2022.12	陝西省委副書記・書記、陝西省長、党組書記などを歴任
2022.12 - 現在	陝西省委書記、省軍区党委第一書記

省長：趙剛（ちょう・こう）

生年月日 : 1968年6月（54歳）
出身地 : 遼寧省新民市
最終学歴 : 北京理工大学、工学修士
民族 : 漢族

期間	役職
2004.04 - 2010.09	中国北方工業副総裁、総裁を歴任
2010.09 - 2018.10	中国兵器工業集団副総経理、中国一重集団董事・総経理などを歴任
2018.10 - 2021.03	陝西省副省長、陝西省委常委、延安市委書記などを歴任
2021.03 - 2022.11	陝西省委常委、陝西省委副書記、延安市委書記を歴任
2022.11 - 2022.12	陝西省委副書記、省政府党組書記、延安市委書記
2022.12 - 現在	陝西省委副書記、党組書記、副省長、代理省長、延安市委書記